

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、泌尿器科では、本学で保管している診療後の診療情報と、共同研究機関から提供いただいた診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 転移性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬および分子標的薬の治療効果に関する調査

[研究対象者]

2008年1月～2024年1月までの間に泌尿器科で進行性腎細胞癌と診断され免疫チェックポイント阻害薬あるいは分子標的薬を投与された方、あるいは2024年1月以降も同疾患に対し通院されている方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、身長、体重、血液・尿検査所見、画像検査所見、癌の病理組織診断、治療開始後の予後など

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

進行性腎細胞癌に対する薬物治療はこの数年で大きく変化しています。かつてのサイトカイン療法から分子標的薬、そして現在は免疫チェックポイント阻害薬がその中心を担っています。治療の選択肢は、免疫チェックポイント阻害薬同士の組み合わせ、免疫チェックポイント阻害薬と分子標的薬の組み合わせ、免疫チェックポイント阻害薬単剤、あるいは分子標的薬単剤と多岐に渡ります。したがって、効果的かつ安全な薬物治療を行うために、これら免疫チェックポイント阻害薬および分子標的薬の治療効果に関するデータを集積し解析することは非常に重要です。本研究では、転移性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬および分子標的薬の治療効果について調査します。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

東京女子医科大学附属足立医療センター 泌尿器科 教授 近藤 恒徳

済生会川口総合病院 泌尿器科 主任部長 橋本 恭伸

常磐病院 泌尿器科 主任部長 新村 浩明

済生会加須病院 泌尿器科 科長 溝口 晋輔

[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他()

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2029年1月10日までの間(予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 泌尿器科 教授・基幹分野長 高木 敏男

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 泌尿器科 助教 石原 弘喜

電話：03-3353-8111 (内線33331) (応対可能時間：平日9時～16時)

ファックス：03-5269-7321 Eメール：ishihara.hiroki@twmu.ac.jp